

	山口大学 医学系分野
学部・研究科名	<p>医学部（第1年次：107 第2年次：10） ※医学科を記載。 医学系研究科（M：67 D：56） ※M：応用分子生命科学系専攻，応用医工学系専攻を記載。 ※D：システム統御医学系専攻，情報解析医学系専攻，応用分子生命科学系専攻，応用医工学系専攻を記載。</p>
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に設置された山口県立医学専門学校、山口県立医科大学を経て、昭和39年（1964年）国立に移管され山口大学医学部として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） （国立）山口大学設置 昭和24年（1949年） 山口県立医科大学設置 昭和33年（1958年） 山口県立医科大学医学研究科設置 <u>昭和39年（1964年） 山口大学医学部設置（山口県立医科大学から移管）</u> 昭和42年（1967年） 山口大学医学研究科設置（山口県立医科大学から移管，成17年（2005年）に医学系研究科に改組） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口大学の基本理念等に基づき、知識・技術と豊かな人間性を基盤とし、総合的な診療能力を持った高度専門職業人として地域医療を担う医師や研究者等の養成を行うことにより、医学・医療の発展と次代への継承を積極的に推進する。 ○ 肝臓再生療法の開発をはじめとする先進医療の開発など、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。特に、社会的に要請が高い基礎医学分野の研究や橋渡し研究、臨床研究が行える人材育成を積極的に行う。 ○ 山口県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。 ○ 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実施に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。

- 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、山口県肝疾患診療連携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等としての取組を通じて、山口県における地域医療の中核的役割を担う。